



10月保健だより

令和元年10月25日(金)

保育園夢未来東雲園

朝夕と寒さが感じられる季節になりました。これからの季節は感染症が流行する季節です。手洗いうがいを習慣づけてしっかりと予防をしていきましょう。また、体調に変化が見られるようでしたら早めの受診を心掛けましょう。また、気温に応じて衣服の調節もしていきますので、ロッカーの洋服、下着類のご確認をお願い致します。

また、登園時、散歩時に着用する上着にもお名前のご記入をお願い致します。

嘱託医 のずえ先生より ～地域で流行している感染症～

RSウイルス感染症が流行しています。
※登園には登園届が必要になります。
よろしくお願ひします。



感染症が流行する季節です

感染症予防には手洗いうがいが重要です。また毎朝体温を測り、お子様の体調の変化にすぐに気づけるようにすることも大切です。(※保育園の登園前に37.5℃以上お熱がある場合は、ご自宅でご療養をお願いします。)体調に変化が見られるときは早めの受診を心掛けましょう。



秋から冬に流行する感染症

●RSウイルス感染症

RSウイルスによる乳幼児の代表的な呼吸器感染症です。毎年、冬季に流行し、乳児の半数以上が1歳までに、ほぼ100%が2歳までに感染し、その後も一生、再感染を繰り返します。感染後4～5日の潜伏期ののち、鼻汁、咳(せき)、発熱などの上気道症状が現れます。3割程度の人はこのあと炎症が下気道まで波及して、気管支炎や細気管支炎(さいきかんしえん)を発症し、咳の増強、呼気性の喘鳴(ぜんめい)(ぜいぜいする)、多呼吸などが現れてきます。

●インフルエンザ

咳やくしゃみからインフルエンザウイルスに感染して起こる重い風邪です。冬のはじめから春先にかけて流行することから、流行性感冒とも呼ばれています。例年、患者数は1月半ばから増え始め2月初めにピークを迎えたあと、3月くらいまで流行します。インフルエンザウイルスはのどの粘膜にくっつくと30分で増え始め、1～2日で症状が出ます。感染力が強いため幼稚園や保育園、学校で爆発的に流行するのが特徴です。流行し始める前、11月から予防接種で免疫をつけておくと、かかっても重くならず済みます。



●ウイルス性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎には、ノロウイルス、ロタウイルス等の種類があります。感染すると、24時間から48時間の潜伏期間を経て、寒気や吐き気、下痢などの症状を引き起こします。熱はインフルエンザほどの高熱はでませんが38度前後の熱が出ます。2次感染を防ぐために、感染者の便や嘔吐物の処理を適切にする必要があります。

★予防には手洗いうがいが大切です。しっかりと行い感染予防をしていきましょう★

